



令和7年3月発行

第4号

南丹市立園部中学校
PTA会報委員会

一年を振り返って

春を身近に感じる季節となりました。

会員の皆様におかれましては平素より園部中学校PTA活動についてご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、「KYOー園部中学校」というスローガンで始まったPTA活動ですが、正直、もっと大変な仕事と覚悟していましたが、メンバーにも恵まれ、先生方のご協力もあり、本当に順調に最後まで進められました。

私が会長を断らなかつたのは、カッコつけな性格のせいもあるのですが、子供に「仕事が忙しい」「興味が無い」と色々理由をつけ、自分が煩わしい事を避けて通るという大人の姿を見せたくないなと思ったからです。

「何が出来るかわからないけど、よし、やってみよう」

これさえ誰かに伝われば、私のPTA会長は大成功です。

月一回の本部役員会議や研修会も、和気あいあいと進める事ができ、とても有意義な時間を過ごせました。

そして、スローガンにも書きましたが、色々な「KYO」に触れる機会を与えてもらえたと感じています。

学校運営協議会という地域と学校、保護者が共に学校の在り方を考える会の中で、学校の地域ボランティアへの取り組みや地域企業との課題解決型学習などの報告をPTA代表として聞かせて頂きました。

自分が中学生だった頃とは全く違う、新しい時代に適応するための学習だと感じました。

生徒会を中心に、自主的なボランティア活動や課題探求を生徒たちが行っている様子を聞き、学校教育メッセージである「気づきがあつて思いがあつて頑張れるあの園部中学校」が形になってきたと実感しました。

これは、数年来の学校運営協議会の皆様が積み重ねてきた活動の成果です。まず、関係の皆様感謝を申し上げ、次年度以降もご尽力頂けます様、宜しくお願い致します。

そして、それぞれのご家庭で活動に対する理解と後押しがあつ

たからこそ、子供たちが進んで活動に参加することができたのだと思います。有難うございました。

「PTA」という組織を通じて、地域の方と交流させて頂き、園部中学校が多くの方の支えによって安心な環境で学べることを知る事が出来ました。

最後に円滑なPTA活動の為、ご尽力頂いた事務局の辻本教頭先生始め、学校の先生方、地域の皆様、会員の皆様に改めて御礼申し上げます。有難うございました。

学校を中心に、家庭、地域の皆様とともに生徒達が健全に成長できる園部中学校となります様、心からお祈り申し上げます。

PTA会長 瀬渡 善道



校長より

3月入って日に日に暖かさが増し、春の訪れを感じさせる季節となりました。令和6年度は中学校教育で大きな改革・変革を宣言する年度となりました。まさに目まぐるしく変化する社会の中で、教育界も例外ではないと感じています。

改革された1つめは、現在の中学1年生が3年生になった時の京都府の公立高等学校の入試制度が変わると報道されたことです。現在の前期選抜と中期選抜が統一され、後期選抜と合わせ3回から2回への入試となり、平成26年から10年以上続いた制度が改革されます。

もう1つは、部活動を中学校現場から無くすという宣言をした自治体が、他県の都市部に出てきたことです。京都府においても休日の部活動を学校では行わないという宣言をした地域もあります。

このように、中学校の教育現場も大きな改革・変革が次々と出てきて戸惑いを感じております。というのも、肝心の生徒達にプラスにつながる教育をしなければならぬことに大きな責任を感じるからです。

校内における実践としては、改革とまでは言えませんが、1年生で課題解決型の学習（園中ラボ）に取組み、2月の最終発表では質の高いプレゼンテーションで大きな成果を残しました。また、2学期より生徒会が中心となって地域貢献ボランティアの活動を展開しています。今まで、道の駅、摩気地域の文化祭やひな祭等のイベントの手伝い、子ひつじの苑で障害のある方と交流するなど、計7回の貢献活動ができました。地域の方が中学校に依頼をしていただき、中学生のエネルギーを活かしてもらおうというスタイルの活動をしています。この取組は生徒にとって大変大きな学びに繋がっており、今後も継続したいと考えています。

学習面では、コロナ禍から使用しているタブレットの活用が日常化され、無くてはならないものとなっています。このタブレット利用も、年度途中から自宅に持ち帰ってAIDRIL（すらら）の活用などを促しています。家庭学習定着の一つになればと考えています。

このような変化の激しい社会の中で教育を進めていくにあたり、我々は生徒が将来に向けて夢や目標がしっかり持て、たくましく生き抜いていく姿を希望しています。そのためには、大きな変革があつても生徒が不利益を被らないよう、全ての教育活動で力をつける教育を推進したいと考えています。保護者の皆様には引き続き一層のご理解とご協力をお願いいたします。

3年生は卒業となりますが、今後は社会人としてますます具体的な力が求められます。その力の基礎となる勉学に全力で励んでほしいと思います。3年生の皆さん、保護者の皆様、おめでとうございます。

校長 宅間 治郎



《各専門委員長より》

人権教育委員会

今年度、人権教育委員会では、命の学習講演会を実施致しました。「最も大切なボランティアは自分自身が一生懸命に生きる事」と題して、講師の池間哲郎氏より講演をして頂きました。私たちは今何でも出来て、好きな物を食べられますが、世界にはそうではない人たちが沢山いる事を話して頂き、毎日一生懸命に生きることが大切だと実感いたしました。時代は変わって平等な世の中に変わりつつありますが、子どもたちが楽しく学校生活を送れるよう、親としてサポートできればと思います。

また、あいさつ運動では子ども達の登校風景を見る事ができました。思いのほか元気に挨拶をしてくれる子が多く、うれしかったです。参加させて頂き良かったです。

最後になりましたが、先生方や役員の方々、保護者の皆様にご協力を頂き、一年間の活動を終えることができました。ありがとうございました。

人権教育委員長 法貴 純子

家庭教育委員会

家庭教育委員会は昨年度に引き続き、給食試食会を行いました。栄養教諭の松井佳世先生から、学校給食の概要説明や、減塩の方法、食事の大切さについてお話ししていただきました。各ご家庭の食事にも生かしていただけるヒントになりましたら大変嬉しく思います。

講義後はいよいよ給食の試食です。参加者の皆さんといっしょに配膳をしました。残さずに配膳すると、かなりの量でボリュームがありお腹いっぱいになりました。薄味なのに素材の味や組み合わせでうまみが増しており、とても美味しかったです。給食の試食後には各教室の配膳の様子も見学させて頂きました。給食を食べている姿など日頃見られない姿が見られてよかったです。

